

事前申込み方法

11月14日(金)23:59 までにお申し込みください

下記のURLもしくはQRコードから
事前参加登録のご協力をお願い致します。

<https://x.gd/Qu5J9>



ホテルメトロポリタン池袋
豊島区西池袋1-6-1

ご不明点がございましたら下記にお問い合わせください。

吉田 浩人 hiroto-yoshida@senju.co.jp 080-8926-3473

現地開催のみ

第40回 帝京大学眼科 学術講演会

専門医認定事業番号：59242

惜候の候、先生方におかれましてはご清祥の事とお慶び申し上げます。
さて、この度「第40回帝京大学眼科学術講演会」を下記の要領で開催させていただきます。
ご多用中恐れ入りますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

会場参加1単位

日本眼科学会専門医制度委員会の
見解より、
1単位を取得できます。
ご不明点は裏面、
弊社担当者にご連絡ください。

当会は、現地での会場開催となります。情報交換会等の準備のため、参加人数をご確認させて頂きたく裏面URL、またはQRコードにて、事前に欠出登録をお願い申し上げます。

ACCESS

- 電車 ● JR池袋駅メトロポリタン口より徒歩1分
● 池袋駅西口(南)より徒歩3分

- お車 首都高速
● 西池袋インターより5分
● 北池袋・護国寺・東池袋インターより7分



正面玄関のロータリーよりお入りいただき、玄関前を通って地下駐車場へのスロープをお降りください。
※駐車場のご予約は承っておりません。
※土・日・祝は混雑のため、満車の場合がございます。
※飲酒後の運転はお控えくださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月15日(土)16:30~

場所：ホテルメトロポリタン池袋3F 朝日
豊島区西池袋1-6-1 TEL:03-3980-1111

会費：1000円

特別講演Ⅰ 16時30分~17時30分

座長：井上 裕治 先生（帝京大学医学部眼科学講座 主任教授）

演者：村上 智昭 先生（京都大学医学部附属病院眼科 講師）

「糖尿病網膜症診療のアップデート」

特別講演Ⅱ 17時30分~18時30分

座長：澤村 裕正 先生（帝京大学医学部眼科学講座 准教授）

演者：恩田 秀寿 先生（昭和医科大学医学部眼科学講座 主任教授）

「眼の異物摘出 Lebel Up!」

講演会終了後は、情報交換会を予定しております。

URLもしくはQRコードより、裏面の事前申し込みへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

特別講演 I

糖尿病網膜症診療のアップデート



村上 智昭先生（京都大学医学部附属病院眼科 講師）

糖尿病網膜症(DR)は、増殖型への進行と黄斑浮腫の合併により、しばしば重篤な視力低下を起こす。硝子体手術の小切開化とwide-viewing systemの導入により増殖糖尿病網膜症治療は完成形に近づいている。一方、糖尿病黄斑浮腫は今も難治性であるが、抗VEGF療法、ステロイド、黄斑部光凝固、硝子体手術の中から、患者さんの病状や社会経済的側面を考慮し治療選択をしている。特に、抗VEGF療法の導入により一定の効果と安全性が担保されたが、コストと頻繁な通院は未だに解消されていない負担である。そのような状況で、バイオシミラーと第二世代が上市され、患者さんの負担は幾分軽減されている印象を持っている。同時に、それぞれの薬剤の特性を把握した上で、幅広い選択肢から最適な治療を考える必要となった。このような状況を踏まえて、今後のDR診療について、皆様と一緒に考える機会をいただくと幸いです。

< 略歴 >

1999年 京都大学 医学部 卒業
同 年 同大学医学部附属病院眼科
2000年 公立豊岡病院
2002年 京都大学大学院医学研究科
2006年 Penn State College of Medicine 博士研究員
2009年 京都大学眼科 助教
2019年 同 講師

特別講演 II

眼の異物摘出 Lebel Up!



恩田 秀寿先生（昭和医科大学医学部眼科学講座 主任教授）

人間の知覚の80%以上は視覚が占めていると考えられており、生活する上で重要な機能であることはいままでもない。視覚を機能させるためには開眼が必要であり、眼表面は常に外界にさらされている。最も矢面に立たされている組織は結膜と角膜であり、通常は眼瞼と涙液により守られている。最もポピュラーな結膜異物は睫毛であり、球結膜、瞼結膜、時に結膜下や涙点にも迷入する。角膜異物は飛来物がほとんどで、鉄片異物、ガラス片をよく見る。眼内異物も飛来物が多く、コンクリート片や金属をよく見る。物体の大きさや運動エネルギーの違いによって強角膜から前房内、水晶体、硝子体、網膜、眼窩内へと深部に到達する。近年はICL、インレーなども摘出せざるおえないことがある。眼窩内には先端が鋭く、長い異物が入りやすい。眼窩内異物は重大な視機能障害を引き起こすため緊急性を要する。眼窩骨折や網膜剥離手術時に挿入した異物も、プレートの不適切な留置やマイラゲルなどの経年劣化により摘出せざるをえない。

本講演では、知識の習得よりもむしろ、異物摘出の体験談を聞くことによる疑似体験を目的としております。乞うご期待。

< 略歴 >

1999年 昭和大学卒業
2000年 御代田中央記念病院
2003年 昭和大学大学院外科系眼科学修了(医学博士)
2005年 比嘉眼科病院
2007年 昭和大学 助教
2009年 米国カリフォルニア大学アーバイン校留学

2013年 昭和大学 講師
2014年 昭和大学 准教授
2018年 昭和大学医学部眼科学講座 主任教授
2022年 昭和大学保健医療学部保健医療学研究科教授(兼任)
現在に至る